

バイオビジネス経営学特論演習 I (2単位)

担当者氏名 木原高治

◆学習・教育目標

バイオビジネス経営学領域のうち企業法務と企業財務を中心に学習する。教育の目標は、企業法務と企業金融・経営財務に関する基礎知識を習得することにおく。演習Iでは、そのうち特に企業法務を中心に学習する。学習の内容は、商法、会社法を中心に行う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

会社法

商法

手形法・小切手法

倒産処理法

◆授業の進行等について

| テーマ | 内 容 | 授業のねらいまたは準備しておく事項 |
|--|---|---|
| <p>① 会社法の基本構造 (2回)</p> <p>② 株式会社の法規制 (6回)</p> <p>③ その他の企業形態と法 (3回)</p> <p>④ 企業取引、企業金融と法、倒産処理と法 (3回)</p> <p>⑤ まとめ(1回)</p> | <p>① 会社法の全体的な構成と特色について整理する。</p> <p>② 主要な企業形態である株式会社の設立、資本、ガバナンス構造等について整理する。</p> <p>③ 従前よりある合名会社、合資会社、新規に導入された合同会社の法規制を概説する。</p> <p>④ 企業取引、企業金融、倒産処理について概説する。</p> <p>⑤ 授業の取り纏め</p> | 企業法務の基本事項を理解することを主目的にして、実定法の解釈、判例の分析、学説整理を行う。聴講者はテキスト・資料に目を通しておくこと。 |

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

北村・柴田・山田『現代会社法入門』(有斐閣)、『ポケット六法』(有斐閣)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

江頭憲治郎『株式会社法』(有斐閣)、神田秀樹『会社法』(弘文堂)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

授業への参加状況で判断する。

◆その他受講上の注意事項